

オリジナル商品 【オコメール】 新市場創出のための 製造能力増強

消費縮小傾向のお米業界において「オリジナル商品の開発」や「高付加価値商品の販売拡大」が不可欠と考え、自社のオリジナル商品【オコメール】を商品化し、販売。高い評価が得られ、お米の新しい市場を創っていくため製造能力の強化が急務となった。新工場を建設し、生産能力を拡大するとともに、効率化によるコスト削減によって付加価値額の増加を目指す。



01 取り組みの経緯

お米の新しい市場創出に向けて手ごたえのあった当社のオリジナル商品【オコメール】製造について、「真空包装機の稼働率」がネックとなっていた。民家の密集地にある現工場では作業時間に制約があり、建坪約200坪と手狭な中で生産のため、設備増強も難しく、大量受注をいただいても、生産能力に余裕がないためにせっかく頂いた注文をお断りしなければならないという状況が頻発。そこで、新たに『真空包装機』を増設することとした。

02 実施内容

【オコメール】の仕上がりをメール便にも対応できる厚さわずか1cmの“真空されたお米のシート”にするため、自動窒素ガス充填包装加工に付随する真空技術が非常に優れており、お茶業界での実績のあった『ロータリー式自動ガス充填包装機』を選定。様々な素材の袋に対応可能であり、ノベルティグッズとしての【オコメール】の付加価値をさらに高められると判断。機械を納品・設置後、試運転と調整を行い、様々な形状の袋で性能を検証した。



03 成果

【オコメール】開発当初は1合サイズ(150g)を真空パックした板状からのスタートだったが、現在では、板状で1合・2号の2種となり、アルミキューブ型や、箱型形状、窒素を重点した、よりお米の鮮度を高めたタイプも製造している。そのため、本事業で導入した機械のラインでは板状を生産し、他のラインでは箱型を生産するというように製造能力の強化とともに、複数タイプある商品の生産効率も上げることができた。



毎年11月23日は“コミュニケーションの日”。
みんな喜ぶお米を
ノベルティコミュニティツールに。

11月23日は新穀を得たことを神さまに感謝する日(新嘗祭)として古くから日本人に親しまれてきました。それに因み、2016年に“コミュニケーションの日”が制定されました。この日はその年の収穫に感謝し、お世話になった人にお米を送ったり、大切な人と一緒にお米を食べて過ごしたりする素敵な日になってほしいと願っています。

代表者メッセージ



代表取締役
徳永 真悟

お米を作り、流通を経てお客様の手元に届く完成品になるまで一貫通貫のお米ビジネスとして確立したい。

お米を取り扱う私たちには、安定供給と供給責任があります。しかし、お米市場が縮小していく昨今では、インフラ業としてのお米供給だけではなく、新しい高付加価値のある商品として世に出す必要があると思います。当社オリジナルの【オコメール】がノベルティやギフトとして価値を感じていただけたように、アイデアで喜んでいただけることが嬉しい。お米業界の新たな活路となる付加価値を今後も提供し続けていきます。

企業情報

所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽字西代778-26
TEL	0879-25-2128
設立	1980年11月
代表者	徳永 真悟
業種	米穀卸売業
従業員数	28名
事業内容	米穀小売・卸売